



全日本でもレースは 3日間だが、選考会 は4日間もある。 それは 自然条件に 対する公平性を重視 しているからだ。 クルージングをしてい て4日嵐は続かない と言われる。 逆に 4日微風が続くと 嵐 以上の選考会となる。





グングンと 伸びる身長 今日の彼は 昨日の彼で はない。





RRS 2017-2020 の改訂で U旗が 標準化された。 P旗や I 旗では失敗した時に やり直しができるが、U旗は失格でX旗は不要になった。本選考会では 全レースの 準備信号を U旗としたためスタートラインは緊張がみなぎった。11レースを通じ て4名のUFD (規則30.3の失格) が出たが 逆にゼネリコは 1 件もなくなった。 U旗の 狙いは ゼネリコを無くし、1 つでも多くのレースをしようとの知恵だったのだ。









江の島沖が まるで 湖になってしまった。

スタート時には少しあった20°の風も どんどん落ちてきた。レース 委員長は 午前に北で1本、陸で昼食後 午後は南風で3本との 作戦。









選考会に突然 浜名湖の様な水面 出現したせいかどうなのか、浜名湖 の選手が ワン・ツーを制している。 World, Euro を経験した 亮太朗は 今、暫定10位、ここは絶対に引き下 がる事はできない。





以上の8艇がトップ集団、他の32艇を大きく引き離した。 風速が2-3kntになると、高い技術が要求されるので 大きな選手の方が多くなる。



軽風で同じスタートを切ったのに、微風の 走りで 後方艇は 遥か彼方に霞んでいる。 彼等の恐怖は DNF になる事、トップフィ ニッシュから15分以降は 全て41点となる。



風はますます落ちてきて RCの無線は 苦しい 運営を打開すべく 電波が飛び交う。3マークで コース短縮するか? ノーレースの可能性は??



風速1.5knt 『3マークにてコース短縮』との指令を出した 海上本部とは高さが同じ、あと半レグだ。





青が 夢にまで見た 選考会で一つでもトップを取ること。それが 200mまで近づいた時、突然ホーン3声、黒い2艇が全速力で近づいてきた。





神様ご乱心? 到達できそうな10艇を救うの か? DNFになりそうな30艇を救うべきか? 選考会の 公平性 に大きく影響するこの判断。 RRSを紐解くと 32.1(b) どの艇もタイム・リ

ミット内にフィニッシュできそうにない不十分な風。32.1(d) 競技の安全または公正に直接影響するその他の理由。が理由として該当せねば 中止できない事になっている。32.1(b)の場合は SI に 90分と明記されており、十分な余裕があったので該当しない。32.1(d) の公正につい

ては 風がある所と無い所が あったので不公正だったとで も言うのであろうか? 中止 時に上位だった選手達から 『救済要求』が出された。



ノー レースに くよくよしても始まらない。 他の競技と違い ヨットは 神の気の向くまま、神の心のおもむくままに戦わなくてはならない。



の思惑通り 陸弁中に南が 入り13:00 に D旗 全艇 出艇。 さあ 仕切り直 しだ。風は 175° 9 knt. 桜の蕾も膨ら み開花を待っ ている。選手 達の膨らんだ 夢は開く事が

できるのか?

























ランニングでは アンヒールするほど 速く走れると コーチから教わる。激戦 に熱くなると センターボードが見える程 艇を傾ける。 1 m程の艇の水線幅が 1/3 の細さになり水面の抵抗が少なくなるが、過熱すると 大きな代償が来る。





涼太郎の動きは 素早かった。 沈をしてから、起こして一気に コックピットに飛び込むまでが わずか20秒の早業だった。







起こす時に水を排出する技。





← 本選考会の最少学年4年生、 しかし このフィニッシュの直前 で ここを走っていると言う事 は ただの 小4ではない。



おーい!中学生はいないのかあー? あ、いた、かろうじて 照晃が中1だ。トップ10のうち 駿、虎士朗、翔太、月里 拓真、頌子、輝海の7名が小学生だった。過去の選考会で こんな事があっただろうか?彼/彼女らは 明日のジョーだ。

原士朗 3 位 照晃 2 位 の 翔太 4 位

40艇中 39番目でフィニッシュ する3225。 この選考会では DNFは少なく11Rで1艇のみ。



中学生順位

2位 照晃

5位 青

9位 昴生

11位 楓

12位 佳菜

14位 巧太郎

波乱はつづく…















-クまであと200m位で 突然風が右に30°も振れて、レー



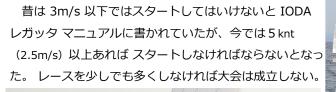




勝利の 秘訣は?

















千葉ヨットビルダーズの 藤森 佑太郎 (中1) はボーダーライン にいる。6Rまでで 暫定 23位、 R7は最悪の37位を取り、現 時点でナショナルチーム入りは 難しくなってきた。 ここは 一発、起死回生を狙う他ない。 今、ぶっちぎりのトップ回航を 果たし、とてつもないリードを もらった。神は僕と共にあり。 残る4レースを優位に展開すれ ば、僕の夢は叶うのだ。





こんな軽風なのに

沈をしてしまった。 悔やんでも悔やみ きれない 最悪の事態。 夢がどこかに飛んでいく。





必死でアカ汲みをして挽回 をはかったが22位、 努力は 沈の泡と 共に消えた。 しかし沈までは 君が 一番 速かっ た事は 皆んなが 認めるよ。







佑太郎と同じく巧太郎(1マーク11位)も仲良く沈をした。 起こす時に焦って再沈、アカ汲みも手間取り 大幅に遅れて34位の最悪の成績だった。





















R 8 順位

前頁の3マーク回航 順序写真と比べると、 小学生が 中学生を 抜いてきた事が解る。

- 1. 菅澤 虎士朗
- 2. 岩永 燎汰
- 3. 森 美遥
- 4. 遠藤 貫太郎
- 5. 幸野 翔太
- 6. 池田 海人
- 7. 北原 頌子 8. 大澤 雄帆
- 9. 嶋倉 照晃 UFD
- 9. 金子 道之介
- 10. 服部 陸太

- 2. 北原 頌子
- 3. 幸野 翔太
- 4. 嶋倉 照晃

R 1

 ~ 8

総合

順位

- 5. 重松 駿
- 6. 前田 月里
- 7. 高山 巧太郎
- 8. 小菅 楓
- 9. 金子 道之介
- 10. 菅澤 虎士朗
- 11. 鷲尾 青
- 12. 鈴木 亮太朗
- 13. 服部 陸太



